

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2単位	学年（科）	1 学年（普通科）
使用教科書	教育図書『書 I』						
副教材等	なし						

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育成します～ ①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。 ②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。 ③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。 ②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。 ③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。

2 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--

3 指導の重点

(1) 古典の書風や変遷を学び、色々な特徴があることを理解させ、書の表現の方法や形式とその多様性を考えるようにする。 (2) 古典の用筆、運筆、字形や全体の構成を見て、技術や感覚的なものを学び、応用力や想像力を身につけ、表現できるようにする。 (3) 古典の書と現代書を比較し、それぞれの良さを理解させ、鑑賞力を身につけるようにする。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

書写教育と芸術書道の違いを理解し、 芸術としての書の知識や効果的な表現をする為の基本的な技能を身につけるようにしている。	書の古典の良さや美しさを感じ、臨書という基本練習から、用筆、運筆、字形を学び身につけて、自己表現をする為の構想や表現を工夫している。	書が他の芸術のようにグローバルな芸術となれるように、社会との関わりを考え、積極的に書の表現や鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
---	--	--

5 評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、 ・制作作品の古典の特徴の理解度と内容 で評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・制作作品の表現や紙面構成の達成度とその内容 で評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題の観察や集中して取り組んでいるか ・制作作品の内容 で評価します。
内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	書写教育から芸術書道へ	1 (B鑑賞)	・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	・年間学習計画と文房四宝 ・芸術書道への取り組み	a	授業の取組
5	漢字・楷書 (書唐の三大家)の書	8 (共通事項)	・顔氏家廟碑 ・雁塔聖教序	・古典の臨書でその特徴を捉え、用筆、運筆の技法を習得する。又、字形や線質の違いを捉え、観察力を身につける	b	制作作品の内容と完成度
6	磨崖と龍門石窟の書	4 (表現)	・牛欄造像記 ・鄭文公下碑		a b	制作作品の内容と完成度
6	楷書の倣書と創作	4 (A表現)	2字句の倣書と創作作品	・これまで学習してきた古典の特徴を活かし、表現を考え工夫して制作する	b	制作作品の内容と完成度 授業の取組
7	漢字・行書	8 (共通事項)	蘭亭序	・蘭亭序とその筆者について ・楷書と行書を比較し違いを理解し、用筆、運筆の技法を習得する	b	作品内容 授業の取組
7	漢字仮名交じりの書 漢字の創作	4 (表現)	自選句、又は自作の詩 漢字2字句創作	・詩文の文字の布置や漢字とひらがな字形を考えて表現する	b c	作品内容 授業の取組

9	漢字・隸書	6 (共通事項)	曹全碑	・隸書の変遷と字形の変化を理解する ・基本点画と特徴を捉え、用筆法を習得する	b	作品内容 授業の取組
10	篆刻	8 (共通事項)	姓名印の制作	・印の種類を知り篆刻に必要な用具と使用方法を理解する ・文字配置を考え姓名印を刻す	b	制作作品の内容 授業の取組
11	仮名の書	8 (共通事項)	仮名の基本 蓬萊切 高野切第三種	・仮名の成立について ・仮名の基本的知識を理解する ・古筆の雰囲気鑑賞し用筆や運筆に集中し仮名独特の連綿の美しさを習得する	b c	作品内容 授業の取組
12						
1	漢字・行書	1 (B鑑賞)	平安の三筆の書	・日本人の書、特に平安初期の作品の鑑賞	a	授業の取組
2	漢字・行書	8 (表現)	風信帖	・筆者について ・字形、線質の特徴を捉え、用筆、運筆の技法を習得する	a b	制作作品の内容 授業の取組
3	天平写経	4 (表現)	隅寺心経	・心経の字数、行数、名前の入れ方を理解し表現する	b c	授業の集中度 作品内容

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・毎週課題作品の提出
- ・篆刻の場合は完成した段階で印箋紙に押印して提出

8 学習アドバイス

古典の臨書から書の表現や技術的なことを学び、作品の鑑賞力を身につけるようにする。また、基本的な練習だけで終わらず学んだことと自分の想像力、創作力と絡み合わせて、古典に立脚した個性的な作品を制作していくことが大事である。